令和元年度事業報告

（概　要）

令和元年１２月に出された「全世代型社会保障検討会議の中間報告案」では、７０歳までの就業確保について企業が行うこととして、定年制の廃止、７０歳までの定年延長、及び定年後又は６５歳までの継続雇用終了後も７０歳まで引き続いて雇用を行うほかに、他企業への再就職、創業する者と業務委託契約を結ぶ、企業が委託、助成、出資等する NPO などの団体の事業に従事するなどを講じることが示されました。さらに令和元年度の通常国会にまずは７０歳までの就労の努力義務規定を盛り込んだ高年齢者雇用安定法の改正案を提出し、制度の定着状況を見極めながら義務化を検討したいとされています。

以上のことから７０歳までの雇用が現実味を帯びてきており、シルバー人材センターに入会する会員の年齢も今以上に上昇し、会員の数も減少することが考えられ、ますますシルバー人材センター事業に逆風が吹いてくるのではないかと予測しています。

そのため当センターとしては、将来的に持続できる組織とするため令和元年度は①会員増に向けた取り組み、②安全・安心な就業、③就業機会の確保を目標に掲げ取り組んできました。その結果会員増に向けた取り組みでは、３１０名の会員数となり昨年度と比較して 1 名の増となりました。これが一時的で終わらないよう今後も会員増を目指して取り組んでいくことが必要です。

安全・安心な就業では、賠償事故が４件、傷害事故が１件発生しており、更に事故防止に努める必要があります。就業機会の確保では、派遣就業において、岡垣町教育委員会から戸切小学校の校務員として今年度いっぱいではありますが、受注することができました。請負においては、町営第２駐車場を岡垣町から指定管理者として新たに指定を受け就業を開始しました。また、伐採作業が増加傾向にありますが、その反面剪定作業の受注が少なくなってきており、これは高齢化の進展により庭木の管理が出来なくなったことや、空き家が増加していることが原因ではないかと分析をしています。

収益に関しては、令和２年１月から現在にかけて発生している新型コロナウィルス感染症の影響で、公共施設などが３月いっぱい閉館となり、これらの施設の就業が無くなったことで、2,000 千円ほど減となりましたが、受託事業収益は、前年度と比較して増加しました。また、当期増減額は役職員及び会員皆様のご協力により、平成２５年度から７年連続でプラスとなり誠にありがとうございました。今後も引き続き健全な経営を目指していきます。

以下事業実績及び主要事業について報告します。

（実施計画に基づく事業について）

一　雇用によらない臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の確保・提供事業・社会参加のための支援

１　就業開拓提供事業

（１）受託事業（一般）

高齢者の福祉の増進を目的に、地域に密着した臨時的かつ短期的、またはその他の軽易な業務を請負もしくは委任により引き受け、職群班組織や毎月発行している事務局だよりを通して、公平な就業を提供してきました。

①　令和元年度実績

就業実人員	就業延人員	就業率	契約金額
人 ２７４	人日 ３３，２７６	％ ８８．４	千円 １６０，９２４

②　主な就業分野

職群別にみると一般作業群である草取り、草刈、清掃等が全体の５３．６％となっており、続いて管理群である駐車場・駐輪場の管理や建物管理などとなっています。介護予防・日常生活支援総合事業における訪問型サービスＡは、４件の依頼がありました。

契約金額では、公共事業及び公社公団からの受注が約６０．８％を占めています。

二　雇用による臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の確保・提供

１　労働者派遣事業

派遣労働を希望する会員を対象に「労働者派遣事業の適正な運営の確保及び派遣労働者の保護に関する法律」に基づき、労働者派遣事業を実施しました。

①　令和元年度実績

就業実人員	就業延人員	就業率	契約金額
人 ２８	人日 １，８６３	％ ９．０	円 ６，４２８，９４９

②　主な就業分野

給食運搬車の運転業務、レンタル用品の洗浄業務、料亭における食器洗

浄業務及び配膳業務、民間保育所における児童の受け入れ業務

　これ以外にも教育委員会から短期ではありましたが、小学校の校務員業務を派遣として受注することができました。

三　高齢者の就業機会の確保や社会参加活動を発展・拡充するための普及啓発、情報提供、研修・講習、相談・助言、調査研究等

１．普及啓発事業

（１）広報活動

　令和元年度も、毎月１回岡垣町役場長寿あんしん課が開催する介護保険被保険者証交付会に合わせて、新規取得者にシルバー人材センター事業の紹介や入会について説明を行いました。また、岡垣町広報や郵便局の窓口封筒及び当センターの窓開き封筒を活用して、当センターの事業紹介や入会についての案内を引き続いて行いました。その他にも、朝日新聞にスポット的に会員募集や就業依頼の広告を掲載、社用車１０台の運転席及び助手席の側面を利用して「会員募集中」の案内表示を行いました。

　次に、全国シルバー人材センター普及啓発促進月間に合わせて町内２か所のスーパーにおいて、役職員及び会員でチラシの配布を行い、広く住民に対して広報活動を行いました。

　次に、本年度から入会説明会に参加した住民で、当センターの会員に未登録の人に対して、入会の働きかけを行いました。

（２）社会参加活動

　毎年５月と１０月を「岡垣町シルバー人材センターの日」と定め、岡垣町役場庁舎周辺では２回の除草活動、海老津駅周辺では１回の清掃活動を実施しました。令和元年度は岡垣町役場の除草活動には合計で１４６名、駅周辺の清掃活動には合計で３１名の参加がありました。その他にも一般町民と合同による焼酎岡垣の原料となる黄金千貫の植栽・収穫作業や三里松原内の松葉かきにも合わせて５０名の会員が参加しました。

　また、年末には草刈班の協力により２日間で延べ３２名がボランティアとして参加し、門松を作成して岡垣町役場、岡垣

サンリーアイ及びいこいの里に合計５対飾り付けを行いました。今後とも積極的に参加をお願いします。

（３）地域交流活動

毎年開催される「まつり岡垣」においては、当センターもパレードへの参加と出店をしています。令和元年度は好天の中実施されパレードには２２名の会員の参加がありました。また出店について今年度は、女性の会とバルーンアート同好会の会員が「さるぼぼ」の置物、「スカーフ」「ブローチ」「ほたる籠」など販売を行い、今年度も盛況でした。また、岡垣町商工会が海老津駅前周辺で実施している「かぐや灯篭祭り」、岡垣町が実施している「人権講演会」で、バルーンアートの実演を行い、技術を習得した会員により子供たちとの触れ合いを行ってきました。

２．安全・適正就業推進事業

（１）安全就業対策

安全意識高揚のため安全標語を募集し令和元年度は、「安全は　一人ひとりの思いやり　素直に受けて　素直に反省」が最優秀作品となり、「事務局だより」に掲載するとともに、倉庫前に標語看板を設置し会員に周知しました。また、安全就業推進委員会が定めた、月々の遵守すべき事項について毎月発行する「事務局だより」に掲載し、倉庫前の掲示板にも掲示して安全に対しての意識付けを行いました。

今年度は、１月６日に高倉神社にて実施した「安全就業・健康祈願祭」において、８３名の参加があり安全標語の入賞者（最優秀賞　１名、優秀賞　２名）へ表彰を行うとともに、会員の安全と健康を祈願しました。

安全就業推進委員会では、平成２９年９月に発生した重篤事故を受けて９月を当センター独自の「安全就業強化月間」と定め、令和元年度は安全パトロールを３回、計９か所の就業先を訪れ、安全な就業を行っているかどうか確認し、指導を行うとともに安全就業啓発用ティッシュを配布しました。また期間中は、倉庫前や事務所カウンター付近にのぼり旗を掲げ、社用車全車に「強化月間」と書かれたマグネットシートを貼付し、役職員一丸となって安全意識の高揚に努め「事故ゼロ」を目指して取り組みました。その他にも４月から２月にかけて例月の安全パトロールを屋外作業中心に実施し、不安全行動などについてチェックし、指導を行いました。しかし、残念ながら４件の飛び石事故と 1 件の傷害事故が発生しました。また６月から１１月までの繁忙期において地域班別に実施していた無事故コンクールを、今年度は新たに１４の地域班を 7 グループに分けて 7 月から１１月の期間で実施しました。その結果、7 グループ中５グループが無事故を達成しました。

なお、達成した班には記念品を贈りました。

（２）適正就業

シルバー人材センターでは、臨時的、短期的かつ軽易な作業を中心として、会員がローテーションにより就業をしています。今後もこのことを基本として様々な就業に従事することとします。

また、派遣就業については、「パートタイム・有期雇用労働法」の改正に伴い、同じ企業で就業する会員との間で、待遇面で不合理な差を設けることが、令和２年４月１日から禁止されるため、発注者と協議を行い一定の理解が得られました。

３．相談事業

（１）入会説明会の実施

入会説明会は、毎月第３水曜日にいこいの里において実施しています。今年度は、第２駐車場の就業体制を見直すことで新たに会員を募集したので、通常の説明会のほかに臨時で２回説明会を実施しました。このことから令和元年度は、入会説明会に４９名の参加者がありました。また令和元年度は、退会者が３６名ありましたが、入会者が３７名であったことから、会員数は３１０名となり昨年度より１名増加しました。

（２）就業相談の実施

未就業会員の就業等についての相談や会員の悩みなどの個別相談を１０月と２月の年２回実施しましたが、相談に訪れる会員はいませんでした。

４．研修・講習事業

令和元年度は、県シ連が主催する人材育成確保事業における「剪定・チェンソー講習会」をいこいの里において実施し、１５名の受講があり、剪定の方法やチェンソーの安全な使用方法などを学びました。

毎年実施している交通安全講習会を、今年度はＪＡＦの協力のもと実施し、７１名の会員が参加し、安全な運転について学びました。

子育て支援サービスの一環として取り組んでいるバルーンアートについて１０回の勉強会を

実施し技術の向上を図りました。また「海老津かぐや灯篭まつり」と「人権フェスタ」に参加し実演を行い、その成果を披露することができました。

毎年実施している健康講演会を、今年度は視点を変え岡垣町社会福祉協議会が実施している「終活セミナー」へ参加し、第１回目は５名、第２回目は５９名、第３回目は８５名、延１４９名の会員が参加し、終活における内容等を学びました。

「女性の会」は、６名から８名の女性会員により運営され、１１回開催し交流を深めることができました。またまつり岡垣においては、バルーンアート同好会と共同で「さるぼぼの置物、スカーフ、ほたる籠、松ぼっくりの飾り物」などを販売し盛況でした。

５．調査研究事業

総務部会を４回開催して会員拡大のための方策として、①新入会員の会費の減額、②夫婦会員の会費の減額、③新入会員紹介者への報奨制度、④ゴールド会員制度について検証を行うとともに、先進地である糸島市シルバー人材センターへも視察を行い、一定の結論を出すことができ、その中の一部の施策については、今年度の総会に議案として提案するに至りました。

女性の会の活動が活発に行われている宮若･小竹シルバー人材センターを当センターの女性の会で２月に訪問し交流を行うこととしていましたが、新型コロナウィルス感染症の影響で中止となりました。